



こんにちは、夜久野支所です。

2月26日から3月3日にかけて市内4会場で「やくの高原活性化検討会報告会」を開催しましたのでその概要を報告します。

報告会では、これまでの経過として施設の年間来場者数や、施設の運営経費の推移、これまでの施設再開に向けた取組内容について説明した後、これまでの4回の検討会での検討内容、施設再開に向けた今後のスケジュールについて報告し、最後に参加者からの質問や意見をいただきました。

今後の検討会のスケジュールは下記のとおりです。

	日 時	内 容
第5回検討会	3月26日（水）	報告会での意見を踏まえた活用方針案の決定

本市条例に基づく名称は「ファームガーデンやくの」ですが、報告書の中では皆さんに親しまれている「農匠の郷やくの」の名称を使用しています

【報告会概要】

日 時	場 所	参加人数
2月26日（水）	夜久野ふれあいプラザ	17名
2月27日（木）	中夜久野地区公民館	27名
2月28日（金）	夜久野荘	32名
3月 3日（月）	市民交流プラザふくちやま	11名

1 当日の次第

- (1) これまでの経過、検討会での検討内容について報告
- (2) 質疑応答

2 報告会で説明した検討会での検討結果

検討会では、住民へのアンケート調査において、利用実績・再開を望む声が多かった温泉施設についての検討や、委託事業者による民間事業者へのヒアリング結果を基にした活用案の中から採算性・実現可能性があり、検討会メンバーから出された住民の要望・意見も反映できる活用コンセプトは何かを検討し活用方針をまとめていただきました。

検討会で検討していただいた内容は以下のとおりです。

- 国道9号の交通量が減少し、施設来場者も半減しているなかで持続可能な施設とするためには事業コンセプトの見直しが必要であり、検討会での議論の結果「様々な体験プログラム」を最適と判断。
- これまでの経過や民間事業者へのヒアリングで得られた「温泉施設のランニングコストが大きく、民間事業者での運営は難しい」との知見や、「利用者が少なかった温泉施設ではなく、温泉水を活用した新たなシンボルとしての復活」を望む検討会メンバーからの意見を踏まえ、従来の温泉施設を核とした施設群としては民間事業者からの応募は難しいと判断。

■ 地域の賑わいづくりのためには、「農匠の郷やくの」だけでなく宝山公園や玄武岩公園など夜久野高原の観光資源の活用についても検討が必要。

以上の検討結果や、事業の経済性や継続性、多様な住民要望をできるだけ限り取り入れることができるコンセプトは何かなどの観点で議論していただき、検討会としての活用方針案を下記のとおりとりまとめたいただきました。

やくの高原の中心施設である「農匠の郷やくの」を地域性も活かしつつ様々な体験ができる場として、以下の方針を基に持続可能な利活用を図る。

(1) 地域内外の多くの人を訪れることができる様々な体験プログラムの創出を図ること

(2) 現在の温浴施設については別用途の利活用を図るが、温泉水は活用すること

(3) 宝山や玄武岩公園など周辺の観光施設や公共施設との回遊により相乗効果を発揮すること

(4) 事業を通じて雇用の創出を図ること

(5) 検討会で出された「地域住民からの意見・要望」について可能な限り反映すること

・上記の方針を、官民連携の取り組みによって実現するため事業者を公募する。

・リニューアルの際に、施設の全体名称（「農匠の郷やくの」や「ファームガーデンやくの」）についても見直しを検討する。

3 参加者から出された質問・意見（抜粋）

- ・やくの高原市の改修は、改修期間中もやくの高原市を利用できるようにしてほしい。
- ・農産物の加工所を整備してほしい。
- ・施設を運営していた時の運営経費の収支を知ることができてよかった。
- ・検討会で出された意見の中でコンビニの誘致や、そば打ち体験は実現してほしい。
- ・行政だけでなく地域住民も一体となって取り組みをしないといけない。（地域全体がよくなるために色んな人に協力してもらうことが必要。）
- ・温泉は人が少なくてゆっくり入ることができて良かった。何か売りをつくって規模を小さくしてでも再開してほしい。
- ・外から人を呼び込むことよりも地元の人がもっと集まりやすいような場にしてほしい。
- ・今後事業者を募集するときには、施設全体を一括して募集するのではなく、施設ごと分割で募集をかけた方が応募してもらえる可能性が高いのではないかと。
- ・施設を再開するだけでなく朝来市との連携など広域的に検討する必要がある。
- ・意見交換会や住民アンケートを実施しリサーチをして、検討会で検討されていることがよく分かった。
- ・施設が再開した後も事業者の経営状況をチェックしてほしい。
- ・国道の交通量が減っているが、交通量に左右されない魅力ある施設として再開してほしい。
- ・施設全体を同時期に再開させるのではなく、できるところから段階的に再開してほしい。また、施設全体の再開とは別にトイレの整備等、道の駅としての整備は急いでほしい。
- ・しっかりとPRもしてほしい。